

NMRメーカ一技術紹介セミナー

開催報告書

提出日：2024年11月8日(金)

開催概要

【目的】 NMRメーカー技術紹介セミナーで紹介されるNMRの最新技術や高度な解析法を学び、NMR利用支援に必要な技術・知識を習得することを目的とする。

【開催日時】 2024年10月29日(火)9：30～12：30
14:00～17:00 NMR施設見学と情報交換会

【場所】 北海道大学 学術交流会館 〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西5丁目8-1

【開催形式】 対面：北海道大学 学術交流会館

【主催】 大学連携研究設備ネットワーク

【共催】 NMR Club、マテリアル先端リサーチインフラ

【プログラム】

9:30～11:00 ブルカージャパン（株）

「ブルカー社製NMRのハードウェアとソフトウェア」

11:00～12:30 日本電子（株）

「溶液NMRの技術紹介とアプリケーション事例」

「固体NMRの技術紹介とアプリケーション事例」

「NMR Crystallography: 固体NMRとSynergyEDの展望」

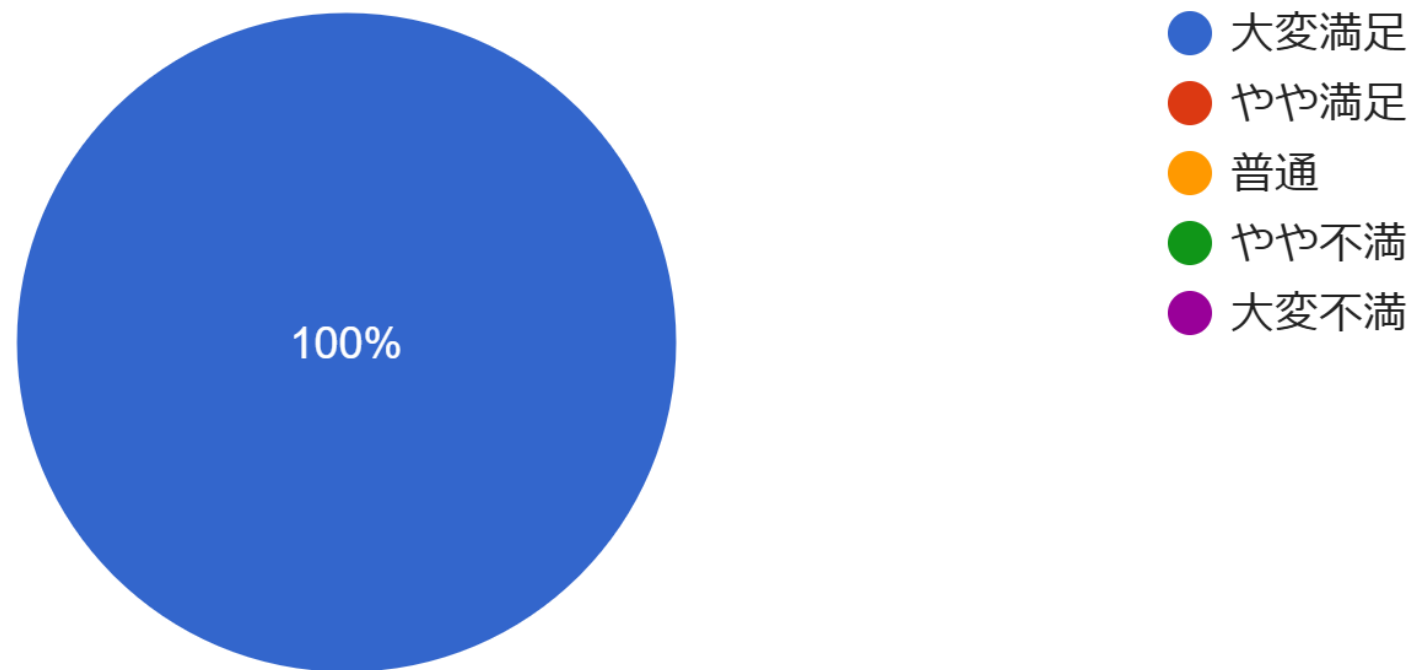
14:00～17:00

NMR施設見学と情報交換会

【参加人数】 10名

今回の講習の満足度を教えてください（内容、配信方法などを含めて）

6件の回答

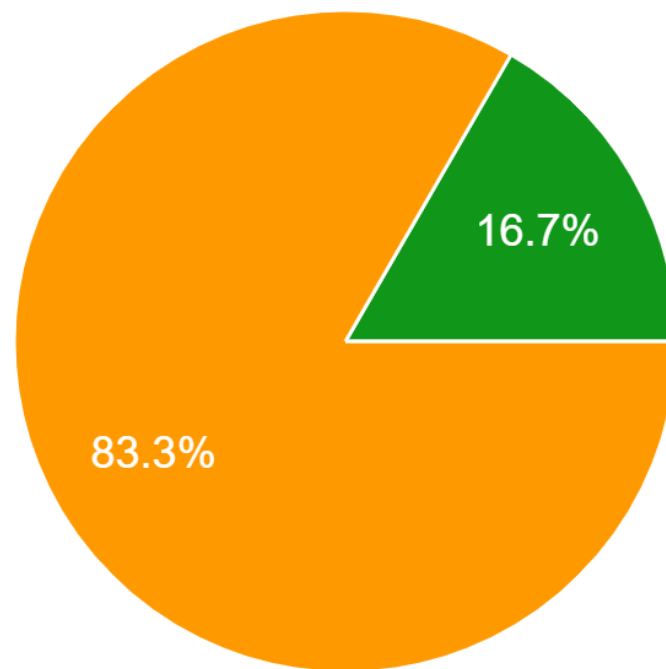


前問を選択した理由をご記入ください。(6件の回答)

- NMRの基本から最新情報までを知ることができて大変有意義だった
- 最新の装置やアプリケーションを知ることが、自身の知識のアップデートにも繋がり大変有意義でした。NMR討論会には不参加でしたが、討論会の前日という日程も良いと思います。
- メーカーの最先端の技術への情報が得られ、また化合物の構造解析の手法についても分子構造模型までご準備いただき緻密な説明により理解を深める事ができ大変有意義でした。
- 測定に関する様々な事例を聞いたことで、本学の研究でも活かせる点があり、非常に興味深い話が多かった。
- 各メーカーの最新技術について学ぶことができ有意義でした。
- JEOLセミナーでは溶液・固体・電子線回折との相互利用の3つのテーマに沿ってご説明いただき丁寧な解説で試料とプローブの特性のマッチングやヘリウムの国際情勢などより理解が深まった。また、Brukerセミナーでは1GHzなどの高磁場NMRの最先端技術に関する展望や、各種プローブのアプリケーション事例がユーザーに測定を勧める際に大変参考となった

講習の内容はいかがでしたでしょうか？

6件の回答



- 簡単
- やや簡単
- 普通
- やや難しい
- 難しい

講習についての感想・ご意見があればお願いします(5件の回答)

- 講習の際の資料をいただければありがたいです
- NMRを普段利用するユーザーにとっては、大変価値のある講習でした。学会員以外でも気軽に聴講できることも良かったです。今後も継続されるようであれば、是非参加したいと思います。
- 旅費のご支援いただき誠にありがとうございました。自機関でも研究者の一助になれるように励みたいと存じます。
- 2種類のメーカーの話を同時に伺えたことは貴重な機会でした。
- MicroEDとNMRを組み合わせた構造解析について勉強になりました。

今後、設備 NW におきまして NMR,MSで行ってほしい講習がありましたら、お聞かせください。

- NMRの初心者向けの講習があれば参加したい
- 固体NMRの実技講習、四極子核・低周波核測定のコツやポイント（固体と溶液）
- 来年もNMR討論会のチュートリアルコースへの出張を企画してほしい（その際、私のように職場から旅費がもらえない者の参加を援助してもらえたらただただうれしいです）